
日本図書館文化史研究会

ニューズレター

第 109 号 2009 年 7 月 5 日

日本図書館文化史研究会

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jalih/index.html>

〒101-8301 千代田区神田駿河台 1-1

明治大学司書・司書教諭課程

郵便振替口座 00170-5-164973

■■ 目 次 ■■

| | |
|---|----|
| 日本図書館文化史研究会 2009 年度研究集会のご案内 | 2 |
| オプショナルツアーのご案内 | 4 |
| 日本図書館文化史研究会 2008 年度活動報告 (2007.4-2008.3) | 9 |
| 日本図書館文化史研究会 2008 会計年度決算報告 (2007.4-2008.3) | 10 |
| 日本図書館文化史研究会 2009 年度予算 (案) | 11 |
| 図書館法施行規則の一部改正省令 公布選択科目「図書・図書館史」を設置 | 12 |
| 『図書館文化史研究』26 号発行のお知らせ | 13 |
| 石井敦氏ご逝去 | |
| 日本図書館文化史研究会 2009 年度第 1 回研究例会報告 | 14 |
| 運営委員会通信 | 15 |
| 事務局だより | 16 |
| 今期運営体制について | |
| 会費納入のお願い | |
| 住所変更等のご連絡をお願いします | |
| 会員動向 | |

日本図書館文化史研究会
2009 年度研究集会・会員総会のご案内

2009 年度日本図書館文化史研究会研究集会・会員総会を、下記のように開催することになりました。多くの方の参加を期待します。

記

- 日 程： 2009 年 9 月 12 日（土）・13 日（日）・14 日（月）
- 会 場： 皇學館大学・伊勢キャンパス 5 号館 521 教室
三重県伊勢市神田久志本町 1704
<http://www.kogakkan-u.ac.jp/>
 - ◆ 8 ページに会場案内図を掲載しました。
- ※ 懇親会会場： 伊勢内宮前すし久
伊勢市宇治中之切町おかげ横丁内
<http://www.okageyokocho.co.jp/shop/sushikyuu.html>
- ※ 交 通： 伊勢市駅（JR・近鉄）または宇治山田駅（近鉄）より、内宮行（徴古館前経由）または宿浦行バスに乗車（約 10 分）、皇學館大学前下車。または徒歩約 15 分
<http://www.kogakkan-u.ac.jp/html/index/p06.html>
- 参加費： 2,000 円
 - ※ 懇親会参加費：7,000 円
- 申込方法： 次の事項を明記して、下記まで電子メール、ファックス、または葉書でお申し込み下さい。
 - ◆ 氏名（ふりがな）
 - ◆ 所属
 - ◆ 懇親会参加の有無
 - ◆ 12 日（土）午後のオプションツアー参加の有無
 - ◆ 13 日（日）午前の徴古館見学参加の有無
 - ◆ 14 日（月）の昼食弁当の申し込み
- 申込先： 〒321-3295 宇都宮市竹下町 908 作新学院大学
司書・司書教諭課程 小黒 浩司
電子メール：oguro@sakushin-u.ac.jp
ファックス：028(670)3671
- 申込締切： 2009 年 8 月 31 日（必着）
- プログラム

第 1 日：9 月 12 日（土）

- ※ オプションツアー「近世松阪の出版・菟書文化と伊勢商人の文庫見学」
 - ◆ 詳細は 4～5 ページをご覧ください。

第 2 日 : 9 月 13 日 (日)

※ 神宮徴古館見学 (希望者)

伊勢市神田久志本町 1754-1

<http://www.isejingu.or.jp/museum/>

◆ 入館料 : 300 円

◆ 『ニューズレター』前号では神宮文庫の見学のご案内しましたが、神宮徴古館見学に変更しました。ご了承ください。

- 10:30 神宮徴古館前集合
 10:40-11:30 神宮徴古館見学
 12:00- 受付開始
 12:30-13:30 会員総会
 13:40-17:00 シンポジウム「これからの図書館史教育と図書館史研究」
 13:40-13:50 開会挨拶
 13:50-14:20 シンポジウムの趣旨 小黒 浩司 (作新学院大学)
 14:25-15:05 報告① 省令科目をふりかえる 柴田 正美 (帝塚山大学)
 15:10-15:50 報告② 日本の図書館学関係行政命令科目における図書館史関係事項の検討：変遷と時代的特徴 志保田 務 (桃山学院大学)
 16:00-17:00 全体討論
 17:30-19:30 懇親会
 ※ 伊勢内宮前すし久
 ◆ 懇親会会場まではタクシーで移動します

第 3 日 : 9 月 14 日 (月)

- 10:00-11:00 個人発表① 藩校文庫の管理運営に関する研究 膽吹 覚 (福井大学留学生センター)
 11:00-12:00 個人発表② ウェスタン・リザーブ大学ライブラリー・スクールの歴史 1963-72 年 松崎 博子 (筑波大学大学院図書館情報メディア研究科)
 13:00-14:00 個人発表③ 19 世紀末から 20 世紀初頭の米国における学校図書館に関する議論の進展 中村 百合子 (同志社大学社会学部)
 14:00-15:00 個人発表④ コレクション形成と主題表現の可能性：ピアス・バトラーの実践を中心に 若松 昭子 (聖学院大学)
 15:00-16:30 運営委員会

会員総会 (12日 12:30-13:30)

会員総会では、次のような案件の審議を予定しています。なお、その他検討すべき議案などがあれば、事務局までご連絡ください。

審議未了の案件がある場合、2日目の個人発表終了後に引き続き審議します。

議事内容

1. 日本図書館文化史研究会 2008年度活動報告(2008.4-2009.3)
2008年度の活動内容をご報告します。9ページの資料をご参照ください。
2. 日本図書館文化史研究会 2008会計年度決算報告(2008.4-2009.3)
2008会計年度の決算をご報告します。10ページの資料をご参照ください。
3. 日本図書館文化史研究会 2009年度予算(案)
2009年度の予算、ならびに活動計画を提案します。11ページの資料をご参照ください。
4. 『図書館文化史研究』の編集体制等の見直しについて
「『図書館文化史研究』投稿規定・執筆要領」の改訂等、機関誌の編集体制等の見直しを提案します。『ニューズレター』107号(9～13ページ)をご参照ください。
5. 創立25周年記念事業剰余金の使途について
創立25周年記念事業の剰余金の使途として、「(仮称)日本図書館文化史研究会研究賞」の創設を提唱します。

※ 14日(月)のみ、昼食弁当を用意します(1,000円程度)。ご希望の方はお申し込みください。

※ 研究集会の日程が、新体操世界選手権の日程(伊勢市内が会場)と重なっています。このため、市内の宿泊施設が大変込み合う模様です。別紙のように、宿泊の斡旋を行いますので、ご利用ください。

日本図書館文化史研究会 2009年度研究集会

オプションルツアーのご案内

2009年度研究集会の前日に、以下のようなオプションルツアーを実施予定です。あわせてのご参加を期待します。

なお、『ニューズレター』108号掲載のご案内と内容が若干異なっておりますので、ご注意ください。

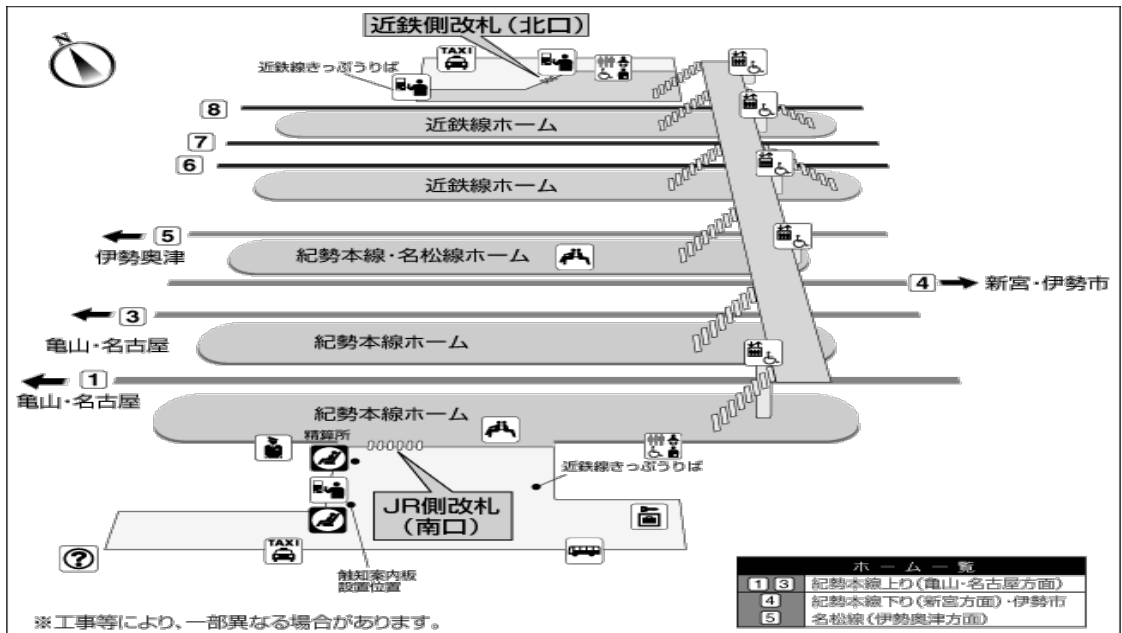
1. 日 時 : 9月12日(土) 12時30分～17時40分
2. 内 容 : 近世松阪の出版・蒐書文化と伊勢商人の文庫見学
3. 訪 問 先 : 継松寺(板木と出版資料)・松阪商人の館・射和文庫(竹

川家)・竹口家など

4. 集合時間： 12時30分
5. 集合場所： 松阪駅 JR側改札(南口)
 - ◆ <http://railway.jr-central.co.jp/station-guide/tokai/matsusaka/map.html>
6. 参加費： 4,500円
 - ◆ 三交旅行社マイクロバスを利用します。
 - ◆ 旅行傷害保険料、松阪商人の館入館料等を含みます。
7. 参加定員： 25名
 - ◆ 先着順で受け付けます。
8. 旅程

松阪駅 JR側改札口集合(12:30) —— 〈バス10分〉 —— 継松寺(「岡寺版集帖」と板木)【40分滞在】 出発(13:20) == (徒歩10分) == 松阪商人の館(伊勢商人の暮らし)【30分滞在】 出発(14:00) == (徒歩5分) == 三井家発祥地・西荘文庫跡(小津桂窓の文庫)・本居宣長旧宅跡・長谷川家(木綿問屋)【徒歩にて各場所を見つつ通過 所要時間約10分】 出発(14:15) == (徒歩10分) == 松阪城【市内眺望 5分滞在】 出発(14:30) == 本居宣長旧宅(鈴屋)【見つつ通過】 == バス駐車場(14:40) —— (バス30分) —— 射和文庫(竹川家)【50分滞在】 出発(16:00) —— 〈バス10分〉 —— 竹口家(伊勢屋)(50分滞在) 出発(17:00) —— 〈バス40分〉 —— 宇治山田駅(各ホテル)(17:40)

※ 松坂駅構内図



13日

シンポジウム

- テーマ : これからの図書館史教育と図書館史研究
- 報告者 : 柴田 正美 (帝塚山大学)
志保田 務 (桃山学院大学)
- 司会 : 小黒 浩司 (作新学院大学)
- シンポジウムの趣旨

2008年7月、これからの図書館の在り方検討協力者会議は、「大学において履修すべき図書館に関する科目の在り方について」を明らかにし、新しい司書養成科目の試案を明らかにしました。しかしこの試案には、現行カリキュラム「図書及び図書館史」に相当する科目は設けられていませんでした。

本研究会はこれに対して文部科学大臣への意見書提出、パブリックコメントの提出などを行い、図書館史教育の一層の充実を求めました。こうした研究会の活動が功を奏したのか、4月に改正・公布された図書館法施行規則で「図書・図書館史」が選択科目ではありますが、存置されました。

今回のシンポジウムでは、この1年間の研究会の取り組みを総括し、あわせて1950年以來の司書養成教育の歴史を振り返ります。そしてこれからの図書館史教育、図書館史研究の行方を議論したいと思います。

報告① 14:25-15:05

柴田 正美

- 報告題名
省令科目をふりかえる
- 報告要旨

2008年6月の図書館法改正により、司書の養成制度は大きく変化しました。1950年9月の図書館法施行規則制定から、今回の改訂に至るまでの司書養成科目や単位数の変遷をたどりながら、各回の改訂の意図を考察し、図書館情報学教育の歴史を検証する。またそこから、大学における図書館員養成教育の今後を考えたい。

報告② 15:10-15:50

志保田 務

- 報告題名
日本の図書館学関係行政命令科目における図書館史関係事項の検討：変遷と時代的特徴
- 報告要旨

平成19-20年度持ち上がった「大学において履修すべき図書館に関する科目」群に対する議論のうち、「図書館史」の重視に関する要望が顕著であった。その行動成果は後に見るとして、初回の昭和25年の図書館法制定時から、第2回昭和43年、第3回平成8年文部省令による改訂の中に「図書館史」の項目を拾って、それぞれの時代との関係を考察する。

14 日

個人発表

発表① 10:00-11:00

膽吹 覚 (福井大学留学生センター)

○ 発表題名

藩校文庫の管理運営に関する研究

○ 発表要旨

藩校の文庫に関する先行研究は、文庫に所蔵されていた書籍に関する研究が中心であった。その一方で、具体的に誰がどのようにして藩校の文庫を管理運営していたのか、という点に関してはほとんど明らかになっていない。そこで、本発表では文部省編『日本教育史資料』(明治 23 年刊)に掲載された各藩校の史料に基づいて、藩校の文庫の管理運営がどのように行われていたのかという問題について具体的な検討を加えてみたい。

発表② 11:00-12:00

松崎 博子 (筑波大学大学院図書館情報メディア研究科)

○ 発表題名

ウェスタン・リザーブ大学ライブラリー・スクールの歴史 1963-72 年

○ 発表要旨

アメリカオハイオ州にあるウェスタン・リザーブ大学には 1904-80 年の間、ライブラリー・スクールが存在していた。ジェシー・シェラ (Jesse H. Shera) 学部長時代を中心に①1904-52 年②1953-72 年③1973-80 年と時代区分し、研究を進めている。今回は、②の後半 10 年間について、スクールの目的、カリキュラム、教員の教育・研究活動、学位授与数、就職状況、ALA の認定、クリブランド公共図書館の協力体制などを経年的に追う。

発表③ 13:00-14:00

中村 百合子 (同志社大学社会学部)

○ 発表題名

19 世紀末から 20 世紀初頭の米国における学校図書館に関する議論の進展

○ 発表要旨

米国では、19 世紀末に、教育また図書館の関係の逐次刊行物に、学校教育と図書館を関連づけて言及した記事が見られるようになる。本研究では、米国の学校図書館史の初期の思想と実践を探るべく、19 世紀末から 20 世紀初頭に、学校と図書館について、それらの記事でどのような主張や報告がされていたかを整理・分析する。当時の米国の教育界また図書館界で広く読まれていたと考えられる、次の逐次刊行物を整理の対象資料とする。*National Education Association Journal of Proceedings and Addresses ; English Journal ; Education: An International Magazine*, そして *A.L.A. Bulletin ; Library Journal ; Public Libraries*。

発表④ 14:00-15:00

若松 昭子 (聖学院大学)

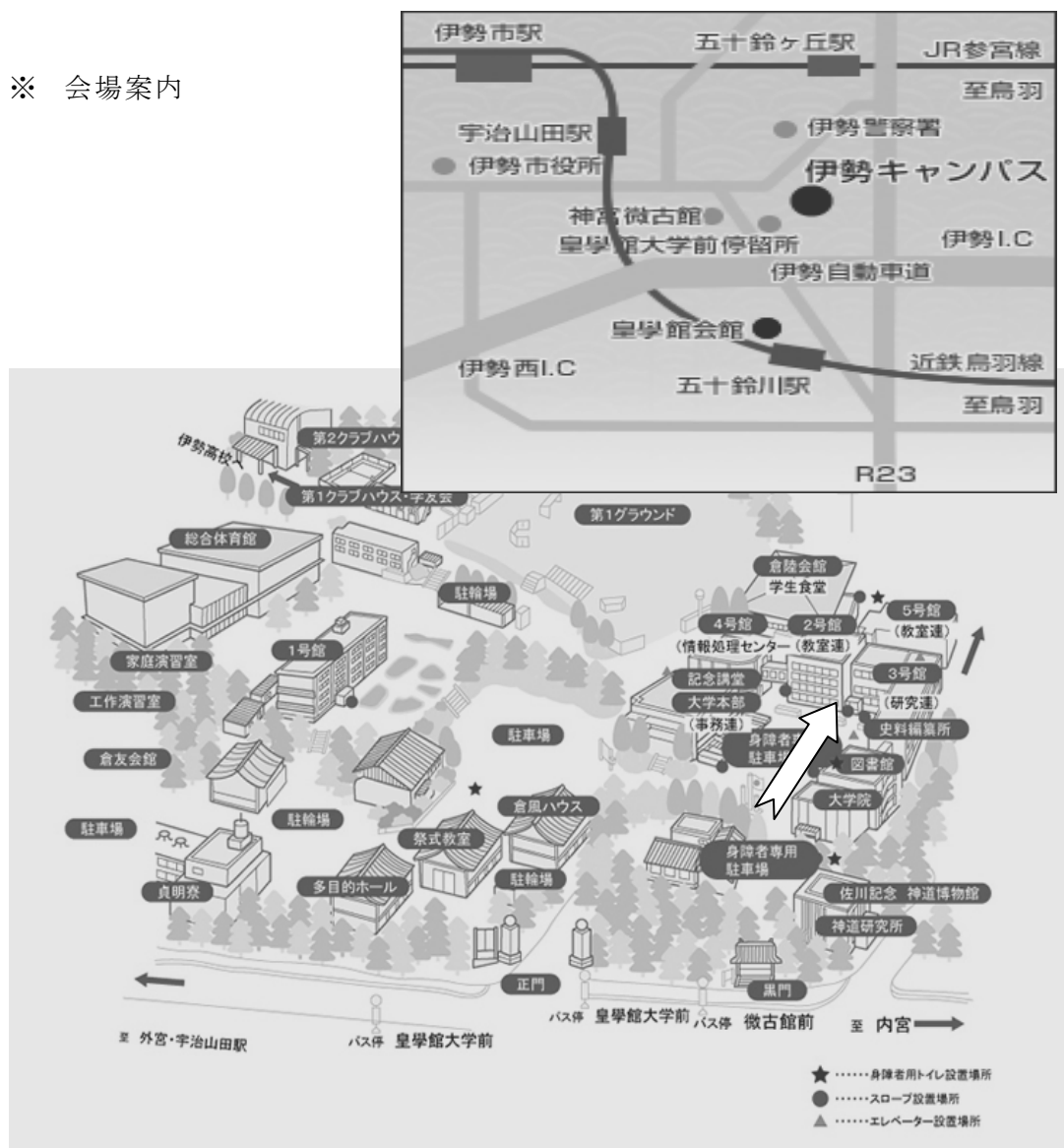
○ 発表題名

コレクション形成と主題表現の可能性—ピアス・バトラーの実践を中心に—

○ 発表要旨

ピアス・バトラーは、シカゴ大学大学院図書館学研究科の設立時教授陣の一人である。彼は、シカゴ大学以前、ニューベリー図書館において印刷史を主題とするコレクションの形成に尽力した。印刷術の社会的文化的な影響に関心を抱いていたバトラーは、特に初期印刷本の収集に力を注いだ。本発表では、当館の蔵書をもとに印刷革命の具体的諸相を描出し、コレクション形成におけるバトラーの意図とその実際を検証したい。

※ 会場案内



日本図書館文化史研究会

2008 年度活動報告 (2008.4—2009.3)

1. 2008 年度 (第 24 回) 研究集会・総会の開催 (参照:『ニューズレター』第 105 号)
期 日 2008 年 9 月 14・15 日
会 場 工学院大学
○ 第 1 日目は、会員総会、特別講演 2 件を実施した。第 2 日は個人発表 4 件と運営委員会を実施した。
○ 総会では、「大学において履修すべき図書館の科目」についての要望書、「日本図書館文化史研究会規約」の一部改正案、2007 年度活動報告、2007 年度決算報告、2008 年度予算、創立 25 周年記念事業等が審議された。
2. 機関誌『図書館文化史研究』第 25 号の刊行 (2008 年 9 月)
07 年度特別講演の記録、研究ノート 2 篇、書評 2 篇、資料紹介 1 篇を掲載・刊行した。
3. 会報『ニューズレター』の編集刊行
第 104 号を 2008 年 5 月、第 105 号を同 8 月、第 106 号を同 11 月、第 107 号を 2009 年 1 月に刊行した。
4. 研究例会
(1) 第 1 回例会 (期日: 2008 年 7 月 12 日、会場: 明治大学)
2 件の発表を実施した。 (参照:『ニューズレター』第 104 号)
(2) 第 2 回例会 (期日: 2008 年 12 月 20 日、会場: 明治大学)
1 件の発表を実施した。 (参照:『ニューズレター』第 106 号)
(3) 第 3 回例会 (期日: 2009 年 3 月 20・21 日、会場: 北海道函館市中央図書館)
発表 3 件、岡田弘子氏インタビュー、函館市図書館旧館の見学会を実施した。 (参照:『ニューズレター』第 107 号)
5. 「大学において履修すべき図書館の科目」についての要望書提出等の取り組み
2008 年 9 月 14 日、文部科学大臣等に対して「大学において履修すべき図書館の科目」についての要望書を提出した。また 2009 年 1 月 24 日、「図書館に関する科目の在り方報告書 (案)」への意見を提出した。
6. 運営委員会の開催
2008 年 7 月 12 日 (明治大学)、9 月 1 日 (明治大学、臨時)、9 月 15 日 (工学院大学)、12 月 20 日 (明治大学)、2009 年 1 月 24 日 (明治大学、臨時)、3 月 7 日 (明治大学) の 6 回実施した。
7. 会員動向
2009 年 3 月末日現在: 186 名 (うち名誉会員 5 名)
新入会: 6 名 退会: 9 名

| 日本図書館文化史研究会 | | |
|-------------------------------------|------------------|------------------------------|
| 2008会計年度決算報告(2008.4-2009.3) | | |
| 収入 | 1,007,433 | |
| 郵便局貯金受取利子 | 415 | |
| 4月1日 | 29 | |
| 10月1日 | 386 | |
| 会費 | 517,920 | |
| 07年度分 | 9,000 | 3名 |
| 08年度分 | 519,000 | 173名(ほか前年度納入済4名、名誉会員5名、未納7名) |
| 09年度分 | 6,000 | 2名 |
| ご寄附 | 1,000 | |
| 同振込手数料 | 17,080 | 80円83件、120円87件(ほか自己負担等5件) |
| 『図書館人物伝』印税 | 239,978 | 詳細別紙 |
| 2007年度繰越金 | 249,120 | |
| 支出 | 625,664 | |
| | 金額 | 備考 |
| 『図書館文化史研究』25号製作・発行費 | 379,393 | 詳細別紙 |
| 『ニューズレター』104号製作・発行費 | 31,310 | |
| 印刷費 | 15,015 | |
| 振込手数料 | 105 | |
| 送料(1) | 16,000 | 200通*80円 |
| 送料(2) | 190 | 海外会員分 |
| 『ニューズレター』105号製作・発行費 | 36,525 | |
| 印刷費 | 20,790 | |
| 振込手数料 | 105 | |
| 送料(1) | 15,440 | 193通*80円 |
| 送料(2) | 190 | 海外会員分 |
| 『ニューズレター』106号製作・発行費 | 36,245 | |
| 印刷費 | 19,950 | |
| 振込手数料 | 105 | |
| 送料(1) | 16,000 | 200通*80円 |
| 送料(2) | 190 | 海外会員分 |
| 『ニューズレター』107号製作・発行費 | 36,090 | |
| 印刷費 | 19,635 | |
| 振込手数料 | 105 | |
| 送料(1) | 16,160 | 202通*80円 |
| 送料(2) | 190 | 海外会員分 |
| 研究集会開催費用 | 50,625 | |
| 第2回例会開催費用 | 1,390 | |
| 第3回例会開催費用 | 26,173 | |
| 事務局経費 | 27,913 | |
| 通信費 | 8,590 | |
| 事務用品等購入 | 19,323 | |
| 2009年度への繰越金 | 381,769 | |
| 監査の結果、帳簿の記入、事務処理が適正に行われていたことを報告します。 | | |
| | 監事 | 山本 順一 印 |
| | 監事 | 山口源治郎 印 |

日本図書館文化史研究会 2009 年度予算(案)

| 収入 | 946,888 | |
|---|-----------|-----------------------|
| | 金額 | 備考 |
| 郵便局貯金利子 | 80 | |
| 会費 | 550,000 | |
| 2009 年度分 | 570,000 | 190 名*3,000 円 |
| 同振込手数料 | -20,000 | 120 名*120 円+70 名*80 円 |
| 2008 年度繰越金 | 381,769 | |
| 『図書館人物伝』印税 | 15,039 | |
| <hr/> | | |
| | 金額 | 備考 |
| 『図書館文化史研究』26 号発行費 | 380,000 | |
| 『ニューズレター』発行費 | 138,275 | |
| 108 号 | 30,275 | (発行済) |
| 109 号 | 36,000 | |
| 110 号 | 36,000 | |
| 111 号 | 36,000 | |
| 研究集会運営費 | 10,000 | |
| 研究例会運営費 | -14,600 | |
| 第 1 回例会 | -14,600 | |
| 第 2 回例会 | 0 | |
| 第 3 回例会 | 0 | |
| 事務局経費 | 30,000 | |
| 通信費 | 10,000 | |
| 事務用品等購入 | 20,000 | |
| 2010 年度への繰越金 | 403,213 | |
| <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> | | |
| 特別会計(1) | 100,000 | |
| 特別会計(2) | 400,000 | |

図書館法施行規則の一部改正省令公布

選択科目「図書・図書館史」を設置

4月30日、「図書館法施行規則の一部を改正する省令」が公布されました。図書館に関する科目の乙群（選択科目）に「図書・図書館史」（1単位）が設置されました。またこれに先立ち文部科学省は、省令案に対する意見公募手続（パブリックコメント）を実施しました（告示は4月1日、締切は同22日）。
<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=Pcm1010&BID=185000396>

研究会は、1月の報告書案に対する意見募集実施の際にも意見書を取りまとめ、提出しました（『ニューズレター』108号、8～9ページ）。今回の省令案は1月の報告書案を受け、選択科目の一つとして「図書・図書館史」が設定されており、本研究会の主張が、一定程度受け入れられたものとも考えられます。しかしながら、報告書案は本研究会の要望を全面的に取り入れられたものではなく、図書館史教育の一層の充実を求めていく必要があると思われました。

そこで、運営委員会では下記のような「図書館法施行規則の一部を改正する省令案への意見」を作成し、4月21日、文科省に提出しました。

この意見書の作成と提出についても、会員の皆さまのご意見を聞く必要がありました。しかし、今回もパブコメの実施期間が短く、残念ながらそうした機会を設けることが不可能でした。この点ご了承をお願いします。

なお、今年度の研究集会では「これからの図書館史教育と図書館史研究」と題してシンポジウムを開催します。このシンポで、この間の研究会の取り組みを総括し、あわせて今後の課題と展望を皆さまとともに考えたいと思います。

- (1) 件名： 図書館法施行規則の一部を改正する省令案への意見
- (2) 名称： 日本図書館文化史研究会
- (3) 職業： 法人
- (4) 住所： [略]
- (5) 電話番号： [略]
- (6) 意見

図書館の意義や必要性を深く理解し、図書館全体を捉える視点を持つためには、その歴史を総合的・系統的に学ぶ科目を設ける必要があると考えます。本研究会としては、「基礎科目」に図書館の歴史を学ぶ科目（「図書・図書館史」）を必修化して、「基礎科目」に置くことが望ましいと考えます。

しかし現時点で、新たに「基礎科目」を追加することが困難であるならば、「図書・図書館史」を選択科目に設置した上で、各必修科目のねらいの中に歴史的な視点を明示することを提起します。各科目の内容に歴史に関連する項目を設け、必要最小限の知識を司書課程履修者全員が得られるよう、ご配慮をお願いします。

以上

『図書館文化史研究』26号発行のお知らせ

機関誌『図書館文化史研究』第26号は、9月刊行予定です（本文約130ページ、予価2,200円）。

目次は以下の通りです。お手元に届くまで、今しばらくお待ちください。

[特別講演]

本間一夫と日本点字図書館
「21世紀の図書館協力」と「本の道」—IFLA ソウル大会に因んで—
阪田 蓉子
竹内 哲

[研究ノート]

日本陸軍の図書接收活動—「陸軍省大日記」に見る—
鞆谷 純一

[書評]

『公共図書館サービス・運動の歴史』
石山 洋

[書評への反論]

石山洋氏の拙著に対する書評に答える
岩猿 敏生

[索引]

『図書館人物伝：図書館を育てた20人の功績と生涯』人名索引
松崎 博子

石井 敦氏ご逝去

本研究会名誉会員の石井敦（いしい・あつし）氏が2009年5月8日ご逝去されました（享年84歳）。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

石井氏は、1982年の本研究会（当時は図書館史研究会）の創立に際し中心的な役割を果たされました。また、『日本近代公共図書館史の研究』（日本図書館協会 1972）などのすぐれた研究業績を遺されました。

研究会では、『ニューズレター』次号に氏を偲ぶ記事を掲載するなど、追悼事業を行う予定です。

日本図書館文化史研究会
2009年度第1回研究例会報告

2009年度第1回の研究例会は、5月16日にドーンセンター（大阪府立総合女性センター）4階中会議室を会場に開催されました。参加者は39名と、大盛況でした。

本研究会の例会は、通常10～20名程度の参加者で実施しています。今回については、定員38名の会議室を予約しました。ところが予想を上回る参加申し込みがあり、広い部屋への変更を検討しましたが、センター内の大きい会議室は満室でした。そこで、センターの情報ライブラリーより補助椅子をお借りして、急場をしのぐことになりました。会場内がたいへん混雑し、参加をされた方々にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

例会ではまず、情報ライブラリーの見学を行いました。ライブラリーの木下みゆき様には、ライブラリーのご案内のほか、前記のように補助椅子のご手配などでお世話になりました。心よりお礼申し上げます。

ライブラリー見学終了後、「CIE 図書館旧職員に聞く」と題して、CIE 図書館の旧職員である豊後レイコ氏から、事前に寄せられた質問項目に沿いながら、同図書館の活動などについて、お話をうかがいました。当初の計画では、同じく旧職員の川上繁治氏もご出席の予定でしたが、他の所用のため欠席となりました。川上氏からは文書で同図書館の模様を証言いただきました。

豊後氏お一人のお話となり、時間配分が心配されましたが、豊後氏の証言は詳細を極め、質疑の時間が不足するほどでした。また参加者中に、他の旧職員の方、CIE 図書館の利用者の方がおられて、関連してお話をうかがうこともできました。豊後氏をはじめ、ご証言いただいた皆さまにお礼申し上げます。

また、今回の研究例会については、企画などで深井耀子氏・田口瑛子氏にご協力をいただいたことを申し添えます。

研究会では、会員の皆さまのご助力を得ながら、今回のような研究例会を、今後も各地で開催することを計画しています。皆さまからのご提案、ご要望などをお待ちしています。

なお、研究例会の発表レジюмеをご希望の方は、事務局までお申し出ください。『ニューズレター』次号に同封してお届けします。

(小黒記)

『CIE図書館を回顧して』を発送しました

第1回例会開催時に『CIE 図書館を回顧して』を注文された方へ、6月末に同書を発送しました。未着の方、またご不明の点は小黒までお問い合わせください。

運営委員会通信

■ ■ 次回運営委員会について ■ ■

次回運営委員会を、下記のように開催します。本研究会の運営に興味・関心のある方は、是非ともご参加ください。

当日ご都合の悪い方は、別記事務局まで郵便、ファックス、または電子メールで、ご意見、ご希望等をお寄せいただければ、運営委員会で検討いたします。

記

- 日 時 9月14日(月) 15時～16時30分
- 場 所 皇學館大学・伊勢キャンパス5号館521教室
- 内 容 1. 2009年度第2回研究例会について
2. 2009年度第3回研究例会について
3. 25周年記念事業剰余金の使途について
4. 2010年度研究集会について

ほか

■ ■ 前回運営委員会の報告 ■ ■

実施日：2009年5月16日

場所：ドーンセンター（大阪府立総合女性センター）

以下のような事項について、協議しました。

1. 2009年度研究集会・会員総会について
2. 司書養成の省令科目について
3. 2009年度第1回研究例会について
4. 2008年度第3回研究例会会計報告
5. 2008年度決算・活動報告
6. 『図書館文化史研究』第26号について
7. 2009年度の運営体制について
8. 2009年度第2回研究例会について
9. 25周年記念事業剰余金の使途について
10. 2009年度事業計画・予算案について
11. 『ニューズレター』第108号について
12. 『ニューズレター』第109号について
13. 会員動向

ほか

事務局だより

■ ■ 今期運営体制について ■ ■

事務局の変更にあわせて、運営委員の役割分担を見直し、一部委員の入れ替えを行ないました。今期の運営委員会体制は、次のとおりです。

代 表： 阪田 蓉子
事務局： 三浦 太郎
編 集： 奥泉 和久・鈴木 宏宗・泉山 靖人
広 報： 石川 敬史・泉山 靖人
研 究： 松崎 博子・小黒 浩司
関 西： 深井 耀子
監 査： 山口 源治郎・山本 順一

■ ■ 会費納入のお願い ■ ■

2009年度会費の納入をお願いします。会費は3,000円です。振替用紙は前号に同封しましたが、見当たらない方は事務局までご請求ください。

■ ■ 住所変更等のご連絡をお願いします ■ ■

研究会からの刊行物の送り先などについて変更が生じた場合、あるいは封筒貼付の宛名ラベルの記載が不正確な場合、早めに事務局までご連絡ください。

■ ■ 会員動向 ■ ■

新入会

たじま ちひろ
田嶋 知宏（青森中央短期大学）

研究分野：アメリカにおける歴史協会図書館の歴史、アーカイブズ学

ふくにし としふみ
福西 敏文（大阪市立大学大学院創造都市研究科）

研究分野：学校図書館、読書運動と図書館、障害者サービス・「点字図書館」

退 会

木戸浦 豊和